

技術資料 (TDS)

作成日 2019/12/18

・ 特質・特性

アケミ カラーボンドP+ (AKEMI® COLOUR BOND P+)はエポキシアクリレート樹脂とスチレンをもとにしたもので、いろんな用途に使用できるジェル状の2液性製品です。

下記の特性があります。

- 即硬化性 (15~40 分)
- 速乾性
- 硬化物は研磨可能
- カートリッジシステムを使用して、簡単に投与し混合できる
- カートリッジシステムは 6分用と 12分用の 2種
- 50色以上の色を取り揃え、シームレスな接着が可能
- 黄変しにくい
- テクノセラミックでも粘着・接着の強度が優れている
- 接着では (60~70°C)、薄被膜では (100~110°C) の耐熱接着に適している
- 水、石油、天然油などに耐久性がある
- フードセーフで硬化後の製品は食品の接触による健康への害はない
(ドイツテスト機関による証明済)

・ 適応範囲

アケミ カラーボンドP+ (AKEMI® COLOUR BOND P+)はシーザーストーン、サイルストーン、ゾディアック、コーリアン、天然石、セラミック、大きいサイズのテクノセラミックのようなクォーツの接着での色の調節に使用されています。(例: Dekton®, Lapitec®, Neolith®, Laminam®, Kerlite®, Maxfine)

・ 使用方法

混合ノズルなし: カートリッジ 装置のみです。

混合ノズル付き: カートリッジ と混合 ノズルで専用ガンにより同時に使用できます。

1. 被着体表面の水分と汚れを除去します。完全に乾燥させ、粗面にします。
2. カートリッジから留め金はずし、カートリッジをガンに挿入し、両方の開口部から材料が出るまでグリップを働かせます。混合ノズルをしっかり締めてください。
最初の10センチほどは使わないでください。
3. 混合ノズルを使用しない場合は両方の成分を十分に混合してください。
4. 混合したカラーボンドP+ 6分は (20 °C) 約 5~7分後に硬化が始まります。
カラーボンドP+ 12分は10~12分後に硬化が始まります。
5. カラーボンドP+ 6分であれば約20-30分後、カラーボンドP+ 12分であれば30~40分後には次の作業をすることができます。(研削、研磨、掘削)
6. 熱すると硬化時間を早め、温度を下げると硬化時間が遅くなります。
7. 使用道具は AKEMI Nitro-Dilution で洗えます。

- 特記事項

- 手袋を使用し手を保護してください。
- すでに主剤が硬化していたりジェル状になっているものは使用しないでください。
- 硬化収縮があるので接着面はできるだけ薄くしてください。
- 保管状態が悪いと良い硬化物特性が得られません。
- アルカリ性建材への適度な接着力があります。（例：コンクリート、コンクリートレンガ）
- 硬化物は若干黄変することがあります。
- 一度硬化した硬化物は溶解剤でも取り除くことはできません。
高温（>200℃）にて物理的に取り除くことは可能ですが接着面等損傷の可能性があります。
- カラーボンドP+ 12分は20℃以下の環境では使用できません。
- 混合ノズルはMEMI専用ノズルを使用してください。
- 使用後は混合ノズルをはずし、付属の留め具で閉じてください。
新しい混合ノズルを締める前に、両方の開口部から材料が出ているのを確認してください。

- 技術データ

	6分タイプ	12分タイプ
色	複数（50数種類）	
比重	約 1.10 g/ cm ³	
可使時間（硬化剤を混合してから使用できる時間（分））		
2%の硬化剤添加の使用		
10℃（霧囲気温度）	10-16	---
20℃（霧囲気温度）	5-7	10-12
30℃（霧囲気温度）	3-5	5-7

引張り強度 EN ISO 527：	40-45N/mm ²
曲げ強さ DIN EN ISO 178：	70-80N/mm ²
圧縮強度 DIN EN ISO 604：	100-110N/mm ²

- 保管期間

直射日光を避け、湿気のない冷暗所で元の容器で1年。

- 健康と安全

この製品の使用前にマテリアルセーフティデータシートをご一読ください。

- 重要な注意事項

使用に当たっては、必ず予備テストを行い確認の上、実際の使用をしてください。